

<空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！>

2022.5.15

JAL闘争を支える京都の会 News No.84

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : komai123@kfa.biglobe.ne.jp

JHU 山口宏弥委員長と神瀬麻里子副委員長を 迎えて「JAL 争議を支援するつどい」を開催

JHU（JAL被解雇者労働組合）山口宏弥委員長と神瀬麻里子副委員長を迎えて、JAL 争議支援のつどい in 京都を5月13日、ウイングス京都で開催しました。この「JAL 争議を支援するつどい」は佐々木眞成・合同繊維委員長と駒井高之・JAL 闘争を支える京都の会事務局長の呼びかけで開かれ、20人を超える参加者がありました。

「つどい」では、まずこの間、一人暮らしで志半ばで去って行った、JHU・細井砂織組合員とJAL 闘争を支える京都の会・小西晴也事務局長に参加者全員で黙とうをささげました。そして、山口委員長と神瀬副委員長からJHUの闘いと争議団の現状についての報告がありました。

久しぶりの京都でのJAL 争議支援の集いで、たくさんの多方面の単産や団体・個人にご参加いただき、「特別協議が何十回も開かれ進んでいるものとばかり思っていたが、今日の話で問題を初めて知った」「JALの会社のやり方ほんとにひどいのがよく分かった。もっと支援連帯を深めよう」「毎月の稲盛和夫JAL元会長地元宣伝強化の意味が分かった。みんなで参加しよう！」などの声が出されま



した。

また、連帯労組関西生コン支部の萱原成樹さんからこの間の闘いの報告があり「関生支部へ

のひどい弾圧に驚いた。」との感想もありました。



12年目の長期争議、JALをもっと追い詰め勝利しようと「記録的な大雨」が近づいてると言われたあいにくの天候でしたが、争議支援再スタートのフレッシュな気分になれた気合いの入った集会として成功したと思います。